

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	英語ⅡB (English ⅡB) 112008-14000					担当教員	関 義夫 (セキ ヨシオ)		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	2	配当年次	2年次	開講期	通年
科目特性	資格対応科目 TOEIC／知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要
2年次配当科目「英語ⅡBクラス」は、「TOEICテスト」対策を念頭に置きながら、英語の基礎力・応用力を高めることを目指すクラスである。練習問題を解くことにより、基礎から中級レベルの英語力を確実に身につける。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
コミュニケーション能力
③ 授業の進め方・指示事項
1. 練習問題を解いて答え合わせ、解説を行う。必要に応じて、関連する補足説明も行う。 2. わからない単語は事前に辞書で調べてくること。必ず復習をし、正解できなかった問題に関しては正解できなかった理由を十分考え、理解すること。 3. 夏休みの宿題がある。提出しないと減点30点。単位取得が難しくなる。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
特になし。
⑤ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 中級レベルの英語（基礎レベルの復習を含む）を理解できる。動詞、助動詞、不定詞、動名詞、進行形、完了形、受動態、比較等の用法、節(clause)の概念を理解し、運用できる。 (ii) 指定テキストを理解するのに必要な文法用語を理解できる。
⑥ テキスト（教科書）
1. 小宮徹ほか（最新版） <i>Grammar Plus</i> （大学英語『グラマー・プラス』）、南雲堂 2. 語学教育教材開発研究会編（最新版） <i>Word Builder</i> （『基礎から学ぶTOEICテスト英単語熟語』）、南雲堂
⑦ 参考図書・指定図書
Educational Testing Service(2021)『公式TOEIC Listening & Reading 問題集 8』国際ビジネスコミュニケーション協会

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S 到達目標を越えたレベルを達成している	A 到達目標を達成している	B 到達目標達成にはやや努力を要する	C 到達目標達成には努力を要する	D 到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 中級レベルの英語の理解	中級レベルの英語の理解・運用が自力ででき、授業内容を超えた学修成果を示している。	中級レベルの英語の理解・運用が自力ででき、テキスト記載の内容をよく理解している。	中級レベルの英語の理解がある程度自力ででき、教員等の支援を受ければ運用もできる。	中級レベルの英語の理解が十分とは言えないが、教員等の支援を受ければ理解できる。	中級レベルだけでなく基礎的な英語の理解が、授業を受けてもできない。
(ii) 文法用語の理解	テキストを理解するのに必要な文法用語を理解しており、テキスト内容を超えた学修成果を示している。	テキストを理解するのに必要な文法用語を、自力でわかる。	テキストを理解するのに必要な文法用語を、教員等の支援を受ければ理解できる。	テキストを理解するのに必要な文法用語の理解は不十分であるが、基礎的な文法用語ならわかる。	基礎的な文法用語すらわからない。
(iii)					

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	85%		未提出は減点30点			15%		100%
(i) 中級レベルの英語の理解	85%							85%
(ii) 文法用語の理解						15%		15%
(iii)								
フィードバックの方法	学習の進捗状況（課題提出状況を含む）を見て、理解が十分でないと思われる項目に関しては、授業内容の関連個所での解説時に配慮する。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
1. 授業内容を記したシラバスをよく読み、自主的に予習・復習をしっかりと、教室以外での勉強時間を十分確保してほしい。
2. 「失格」評価にならないよう出席に関して十分自己管理を行うこと。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	TOEIC テストとは	TOEIC テスト関連の配付プリント、 テキスト全体に目を通して、TOEIC テストの概要について理解する。	60 分
2	英語 I の復習（1） 代名詞の基礎	テキスト p. 106 の予習・復習	60 分
3	英語 I の復習（2） 動詞（be 動詞、一般動詞）、肯定文、否定文、疑問 文の基礎	テキスト p. 104 の予習・復習	60 分
4	進行形（Unit6）要点解説（基礎と応用）	テキスト p. 28 の予習・復習	60 分
5	練習問題を解く①	テキスト pp. 29-30 の予習・復習	60 分
6	練習問題を解く②	テキスト p. 31 の予習・復習	60 分
7	名詞と冠詞（Unit7）要点解説	テキスト p. 32 の予習・復習	60 分
8	練習問題を解く	テキスト pp. 33-35 の予習・復習	60 分
9	現在完了形の復習（基礎と応用）	テキスト p. 100（Unit24）参照	60 分
10	助動詞（Unit8）要点解説（基礎と応用）	テキスト p. 36 の予習・復習	60 分
11	練習問題を解く	テキスト pp. 37-39 の予習・復習	60 分
12	提案と命令	テキスト p. 40 の予習・復習	60 分
13	練習問題を解く①	テキスト pp. 41-42 の予習・復習	60 分
14	練習問題を解く②	テキスト p. 43 の予習・復習	60 分
15	前期まとめ	各回授業の要点の復習と期末試験 に向けた準備学習	60 分
16	未来を表す表現（Unit10）要点解説（応用） （will、現在進行形、現在形など）	テキスト p. 44 の予習・復習	60 分
17	練習問題を解く	テキスト pp. 45-47 の予習・復習	60 分

18	比較 (Unit13) 要点解説、練習問題を解く	テキスト pp. 56-59 の予習・復習	60 分
19	不定詞 (Unit15) 要点解説 (基礎と応用) 練習問題を解く	テキスト pp. 64-67 の予習・復習	60 分
20	接続詞 (Unit17) 要点解説、練習問題を解く	テキスト pp. 72-75 の予習・復習	60 分
21	受動態 (Unit18) 要点解説 (基礎と応用)	テキスト pp. 76-79 の予習・復習	60 分
22	形容詞節 (Unit20) 要点解説	テキスト p. 84 の予習・復習	60 分
23	練習問題を解く	テキスト pp. 85-87 の予習・復習	60 分
24	副詞節 (Unit21) 要点解説	テキスト p. 88 の予習・復習	60 分
25	練習問題を解く	テキスト pp. 89-91 の予習・復習	60 分
26	条件節 (Unit22) 要点解説	テキスト p. 92 の予習・復習	60 分
27	練習問題を解く	テキスト pp. 93-95 の予習・復習	60 分
28	名詞節 (Unit23) 要点解説	テキスト p. 96 の予習・復習	60 分
29	練習問題を解く	テキスト pp. 97-99 の予習・復習	60 分
30	後期まとめ	各回授業の要点の復習と期末試験 に向けた準備学習	60 分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL を採用する。練習問題を解き、要点を解説することによって、知識の確認及び定着を目指す。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性